

第 2 期燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン
(令和 2 年度～令和 6 年度)
連携事業進捗状況

令和 6 年 9 月

燕市・弥彦村

目 次

I 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

1 具体的取組	3
2 具体的取組の全体像	4

II 燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン進捗状況

1 進捗状況一覧	5
2 具体的な取り組み	
・ 病児・病後児保育事業	6
・ 新潟大学寄附講座事業	7
・ 看護職員修学資金貸付事業	8
・ 介護人材定着促進事業	9
・ 観光エリア魅力アップ促進事業	
【首都圏等観光PR事業】	10
【産業観光ナビゲート事業】	11
【観光協会運営支援事業】	12
【2次交通整備事業】	13
【観光複合施設運営管理事業】	14
【情報発信事業】	15
・ コミュニティバス運行事業	17
・ 予約制乗合ワゴン車運行事業	18
・ 職員合同研修事業	19
・ 外部人材活用事業	20

III 共生ビジョン取組事務事業一覧表	21
---------------------	----

I 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

1 具体的取組

○生活機能の強化に係る政策分野

(1) 医療・福祉

① 地域医療・福祉の環境整備（４事業）

- 病児・病後児保育事業
- 新潟大学寄附講座事業
- 看護職員修学資金貸付事業
- 介護人材定着促進事業

(2) 産業振興

① 広域観光の促進（１事業）

● 観光エリア魅力アップ促進事業（細事業６事業）

- ・ 首都圏等観光PR事業
- ・ 産業観光ナビゲート事業
- ・ 観光協会運営支援事業
- ・ ２次交通整備事業
- ・ 観光複合施設運営管理事業
- ・ 情報発信ツール活用事業

○結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(1) 地域公共交通

① 地域公共交通ネットワークの構築（２事業）

- コミュニティバス運行事業
- 予約制乗合ワゴン車運行事業

○圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(1) 人材育成

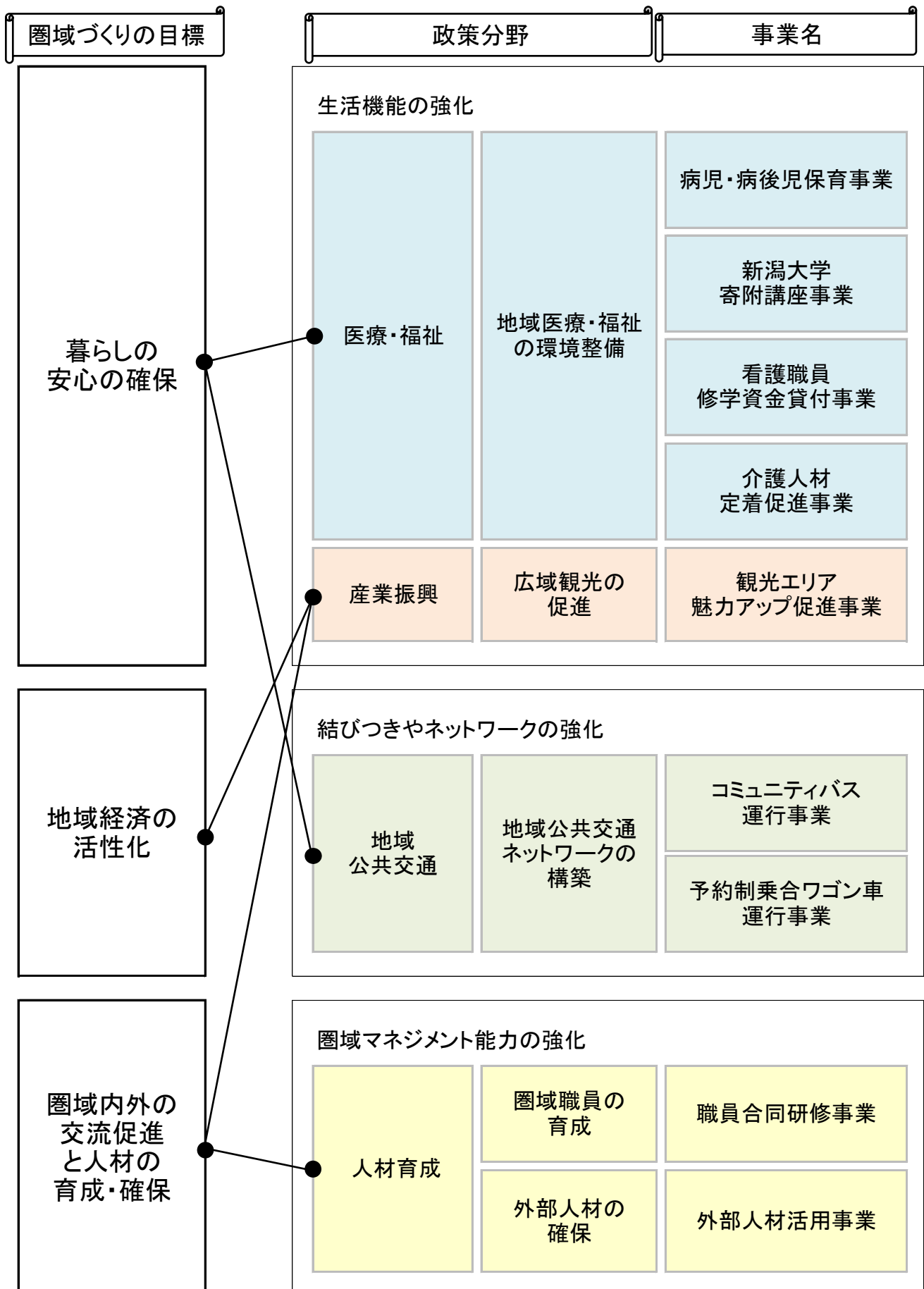
① 圏域職員の育成（１事業）

- 職員合同研修事業

② 外部人材の確保（１事業）

- 外部人材活用事業

2 具体的取組の全体像



Ⅱ 燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョン進捗状況

1 進捗状況一覧（全14事業）

各事業について、圏域の実情を踏まえながら実施した年度内の取り組みの進捗状況を4段階で評価しています。（4段階評価：順調、概ね順調、やや遅れている、遅れている）

■順調（7）

政策分野		事業名
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備	病児・病後児保育事業
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備	新潟大学寄附講座事業
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備	看護職員修学資金貸付事業
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備	介護人材定着促進事業
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【観光複合施設運営管理事業】
人材育成	圏域職員の育成	職員合同研修事業
人材育成	外部人材の確保	外部人材活用事業

■概ね順調（7）

政策分野		事業名
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【首都圏等観光PR事業】
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【産業観光ナビゲート事業】
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【観光協会運営支援事業】
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【2次交通整備事業】
産業振興	広域観光の促進	観光エリア魅力アップ促進事業【情報発信事業】
地域公共交通	地域公共交通ネットワークの構築	コミュニティバス運行事業
地域公共交通	地域公共交通ネットワークの構築	予約制乗合ワゴン車運行事業

■やや遅れている 遅れている（なし）

2 具体的な取り組み

- 生活機能の強化に係る政策分野
 - 医療・福祉
 - 地域医療・福祉の環境整備

事業名	病児・病後児保育事業							
事業内容	「子どもの具合が悪く学校等には行くことはできないが、仕事は休めない」といった場合に、専用施設（病児保育室「あおぞら」および病児・病後児保育ルーム「なでしこぼかぼか」）で一時的に児童を預かり、保育および看護ケアを行うことで、保護者の子育てと就労の両立を支援する。					関係市村		
						燕 市 弥彦村		
期待される効果	圏域の保護者の就労を支援するとともに、安心して子育てできる環境の充実が図られる。							
実施状況 (R6.9末時点の 年度末見込)	＜事業概要＞							
	病児保育室「あおぞら」（たかだ小児科医院併設）							
	対象児童	燕市または弥彦村に居住する生後6カ月から小学6年生までの子ども						
	利用定員	8人						
	開設日時	月曜日から金曜日の8時から18時まで（年末年始・祝日を除く） （早朝：8時から8時30分、延長：17時30分から18時）						
	利用料	1日2,000円（ただし4時間以内1,000円）、早朝・延長は各200円 ※生活保護世帯・市民税非課税世帯は免除						
	病児・病後児保育ルーム「なでしこぼかぼか」							
	対象児童	燕市に居住するまたは保護者が燕市内の事業所等に勤務する生後6カ月から小学6年生までの子ども						
	利用定員	10人						
	開設日時	月曜日から金曜日の8時30分から17時30分まで（年末年始・祝日を除く）						
	利用料	4時間以上2,000円、4時間以内1,000円 ※生活保護世帯・市民税非課税世帯は免除						
	＜登録者数及び利用者数＞（単位：人）							
	登録者数	燕市	R1 1,587	R2 1,768	R3 1,991	R4 2,188	R5 2,434	R6 2,650
		弥彦村	216	219	227	228	237	249
計		1,803	1,987	2,218	2,416	2,671	2,899	
利用者数	燕市	591	148	375	311	624	205	
	弥彦村	66	9	19	18	27	14	
	計	657	157	394	329	651	219	
進捗状況 (反省点・改善点)	☑順調 ☐概ね順調 ☐やや遅れている ☐大幅に遅れている							
	登録者数は毎年順調に増加している。利用者数は新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ時期があったが、徐々に回復しつつある。保護者の就労を支援するとともに、安心して子育てできる環境の充実を担っている。							
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6			
							➡	
事業費見込 (単位：千円)	22,000	22,000	22,000	22,000	27,000			
	特定財源等	10,184	8,792	8,792	8,182	8,702		
	一般財源	9,844	13,208	13,208	13,818	13,298		
特定財源等の名称	子ども・子育て支援交付金							
役割分担の考え方	燕市が事業を実施し、弥彦村が事業経費の一部を負担する。							

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (H30)	昨年同期値 (R5.9末)	最新値 (R6.9末見込)	評価	目標値 (R6)
病児・病後児保育事業の登録者数	1,585人	2,631人	2,930人	◎	2,700人

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

- 生活機能の強化に係る政策分野
医療・福祉
－ 地域医療・福祉の環境整備

事業名	新潟大学寄附講座事業				
事業内容	新潟大学に設置した寄附講座により、消化器疾患対策の研究を新潟大学及び吉田病院を拠点として実施し、吉田病院を中心とした医療圏における消化器疾患の検診・教育・予防体制のモデル地区構築を目指す。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	次世代検診モデルの構築による消化器疾患の早期発見、早期治療対策の研究による地域の検診体制の強化が図られる。				
実施状況 (R6.9末時点の 年度末見込)	新潟大学が県立吉田病院の消化器内視鏡センターに医師を派遣し、診療及び以下のことを実施した。 1. 慢性疾患の早期発見、早期治療対策 燕市の集団による特定健診等受診者のうち、同意が取れた人の血液検査データに、現状では健診項目ではない肝線維化の程度を確認するFIB-4インデックスも加え、受診勧奨レベルの研究を継続実施した。 2. 大腸がん検診の精密検査に関する情報提供 燕市、弥彦村ともに大腸がんの精密検査受診率が他のがん検診と比較し低いことから、大腸がんと生活習慣病の関係や精密検査の必要性を普及啓発する動画を県立吉田病院の医師と協働で作成した。大腸がん検診の結果通知に動画視聴できる二次元コードを同封した他、医療機関等にポスター掲示や市ホームページにて周知を行った。				
進捗状況 (反省点・改善点)	☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ やや遅れている ☐ 大幅に遅れている				
	圏域住民の健康意識を高める事業の実施と寄付講座における研究への協力により、新潟大学が県立吉田病院の消化器内視鏡センターに医師を派遣している。これにより、消化器内科医の確保につながり、安定した医療体制が構築されている。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込 (単位：千円)	7,480	7,480	7,480	7,480	7,480
特定財源等	－	－	－	－	－
一般財源	7,480	7,480	7,480	7,480	7,480
特定財源等の 名称					
役割分担の 考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めま

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (H30)	去年同期値 (R5.9末)	最新値 (R6.9末見込)	評価	目標値 (R6)
県立吉田病院 消化器内科医師数	4人	4人	5人	◎	4人

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

○生活機能の強化に係る政策分野
医療・福祉
- 地域医療・福祉の環境整備

事業名	看護職員修学資金貸付事業				
事業内容	看護師等を養成する学校又は養成所に在籍し、将来県央医療圏において看護職員として業務に従事しようとする者に対し、市村が指定する医療施設に継続勤務した場合に返還が免除となる修学資金の貸与を行い、県央圏域の看護師不足の解消と人材の地元定着を図る。				関係市村
					燕 市 弥彦村
期待される効果	圏域を含む県央医療圏における看護職員の確保及び人材の地元定着が図られ、圏域の医療体制の維持・充実につながる。				
実施状況 (R6.9末時点の 年度末見込)	【制度の概要】 ◆対象者：本人または保護者が燕市・弥彦村在住で、看護師等を養成する学校または養成所に在学する人 ◆貸与月額：5万円、4万円、3万円から選択 ◆貸与期間：在学する学校・養成所の正規の修業期間（最長5年間） ◆返還免除：以下の要件すべてに当てはまる場合は、返還を免除する （1）学校や養成所を卒業後、看護職の免許を取得すること （2）資格取得後、直ちに指定する医療機関において、当該免許を活かした業務に5年間継続して従事すること ◆その他：新潟県が実施している「看護職員臨時修学資金制度」との併用が可能 【実施状況】 ◆貸付延人数 燕市41名、弥彦村2名（このうち31名が現在も修学中） ◆貸与者の卒業後の就職先 R3末卒業：三条総合病院（1名） R4末卒業：燕労災病院（3名、現在は県央基幹病院）、都内病院（1名） R5末卒業：県央基幹病院（4名）、県立吉田病院（1名）、三条市内病院（1名）				
進捗状況 (反省点・改善点)	☒順調 ☐概ね順調 ☐やや遅れている ☐大幅に遅れている 延べ43人に修学資金の貸付を行っている。貸付を受けた者のうち学校を卒業した者は11人。うち8人が指定医療機関（県立吉田病院、県央基幹病院）に就職し、圏域の医療体制の維持・充実が図られている。				
実施 スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
					
事業費見込 (単位：千円)		7,500	12,963	17,040	19,080
特定財源等		-	-	-	-
一般財源		7,500	12,963	17,041	20,648
特定財源等の 名称					
役割分担の 考え方	両市村が事業を実施し、それぞれが費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めま

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (R2)	去年同期値 (R5.9末)	最新値 (R6.9末見込)	評価	目標値 (R6)
看護職員修学資金貸付事業（延べ人数累	—	34人	43人	◎	32人

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

○生活機能の強化に係る政策分野
医療・福祉
－ 地域医療・福祉の環境整備

事業名	介護人材定着促進事業				
事業内容	介護資格の取得経費や研修受講費の一部を助成することで介護人材の確保に努めるとともに、介護業務に精励する職員の表彰を通して、介護職のやりがいと魅力を広く住民に発信し、職員が自信と意欲を持って働き続けられるよう介護人材の定着を図る。				関係市村
					燕 市 弥彦村
期待される効果	介護職員が資格を取得することや表彰を受けることで、自信とやりがいを持てる職場環境が形成され、職員の離職予防や定着促進につながり、圏域における高齢者が介護サービスを安定的に利用できる。				
実施状況 (R6.9末時点の 年度末見込)	【介護職員研修費助成事業助成金（令和6年度）】 ①介護職員初任者研修（ヘルパー２級） 研修費用の1／2補助、上限7万円 申請者数：2名 ②介護職員実務者研修（ヘルパー１級） 研修費用の1／2補助、上限8万円 申請者数：8名 ③介護職員喀痰吸引等研修 研修費用の1／2、上限4万円 申請者数：1名 ④介護福祉士資格取得 登録費用の10／10、上限1万円 申請者数：9名 ※いずれも9月末時点の申請者数 周知としては事業所宛に制度周知のメールを一斉送信し、申請を勧奨しました。 【燕市次世代を担うキャリアテン介護職員等表彰（2018年～）】 燕市・弥彦村圏域の介護施設に10年以上勤務している介護職員等に、日ごろの感謝を込め表彰する「燕市次世代を担うキャリアテン介護職員等表彰式」を毎年11月に実施している。2023年（令和5年）は、57名を表彰しました。				
進捗状況 (反省点・改善点)	☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ やや遅れている ☐ 大幅に遅れている				
	目標値は達成しているが、事業開始当初に比べると申請者数が減少傾向となっている。高齢者数は今後も増加していくため、介護職員のさらなる定着が不可欠となる。『燕市次世代を担うキャリアテン介護職員等表彰式』を継続することで、「希望・感動・感謝」に満ちた職場であることを伝え、引き続き人材確保・定着に努める。				
実施 スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
					
事業費見込 (単位：千円)	764	615	644	559	1,683
特定財源等	－	－	－	－	－
一般財源	764	615	644	559	1,683
特定財源等の 名称					
役割分担の 考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (H30)	昨年同期値 (R5.9末)	最新値 (R6.9末見込)	評価	目標値 (R6)
介護人材育成事業補助金 助成者数(延べ人数累計)	147人	321人	343人	◎	290人

※達成状況は３段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

- 生活機能の強化に係る政策分野
産業振興
- 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（首都圏等観光PR事業）				
事業内容	首都圏を中心にイベント出展、メディアのパブリシティ活動や交通媒体等に対する観光PR活動の強化を図る。また、マスコミや旅行会社、一般消費者によるモニターツアーを実施して圏域への誘客の増加を図る。				関係市村
					燕 市 弥彦村
期待される効果	マスコミや旅行関係者に圏域の観光資源を直接提供することで、新たな旅行商品が造成され、首都圏からの誘客増加や新たな客層の発掘が図られる。				
実施状況 (R6.9末時点の 年度末見込)	首都圏等観光PR事業 ①首都圏での観光PRイベントの実施 新たに銀座にオープンした新潟県アンテナショップにおいて観光PRイベントを実施した。 ■実施日：8月24日～25日 ■来場者数：24日（10：30～18：30）400名／25日（10：30～15：30）250名 ②産業観光ツアー造成支援事業 産業観光施設並びに燕市及び弥彦村の立ち寄り施設を各1個所以上取り入れた募集型企画旅行を催行する旅行事業者に対し補助。 ※申請件数0件（国内件 訪日0件） ③インバウンドプロモーション事業 1. 11月11日～13日の3日間台湾からの訪日客をターゲットにモニターツアーを実施し、5～6名の日本在住台湾の方を招聘予定。 2. インバウンド需要が活発化していることから、台湾および香港からの誘客促進を図ることを目的に2月実施予定。渡航人数は調整中。 ④観光イベントへの出展 ・商談会 3回 （インバウンド向け（東京）、大阪、浅草、大宮） ・観光イベント 4回（新潟駅、大宮駅、銀座・THE NIIGATA、東京駅） ⑤雑誌やメディアを使った観光プロモーションの実施 北信越福島5局制作番組「北信越福島行楽マップ2024」として、NST及び北信越福島の5局での行楽スポットを紹介。				
	□順調 ☒ 概ね順調 □やや遅れている □大幅に遅れている ②産業観光ツアー造成支援事業 過去実績のあった国内外旅行社や商談会を行った旅行社へ今年度補助金詳細の情報提供を行い、本補助金の造成申請があったが、催行最小人数に届かず催行なし。今後、日本旅行業協会（JATA）に会員登録のある旅行業者等へ広く周知を予定。				
実施 スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
					
事業費見込 (単位：千円)	10,750	10,000	10,000	10,000	10,000
特定財源等	-	3,750	3,750	3,750	2,750
一般財源	10,750	6,250	6,250	6,250	7,250
特定財源等の 名称	地方創生推進交付金				
役割分担の 考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用負担をする。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めま

- 生活機能の強化に係る政策分野
産業振興
- 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（産業観光ナビゲート事業）				
事業内容	各種観光イベントの企画運営の強化拡充と観光客や団体視察などの受入体制を充実させるため、観光ナビゲーターの確保育成を図る。				関係市村
					燕 市
期待される効果	圏域を訪れる観光客の滞在時間の増加やリピーター率の増加などにより、地域住民と観光客の交流の場の拡大が図られる。				
実施状況 (R6.9末時点の 年度末見込)	①観光ナビゲーターの活用 【実施状況】 ・燕市観光協会で観光ナビゲーター3名を採用 ・観光案内業務 ・修学旅行や企業視察のコース提案及びオペレーションを実施 *産業観光視察受入実施状況 R6.09.30見込 4,000人 ②産業史料館運営業務 【実施状況】 ・産業史料館における受付・入館対応業務、案内、説明。 ・体験工房館での体験受付、指導。 ③新たな観光資源の発掘や体験型観光の企画開発 【実施状況】 ・体験型観光の企画開発 ・自然・産業観光が連携した新たな観光資源の発掘				
進捗状況 (反省点・改善点)	☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ やや遅れている ☐ 大幅に遅れている				
	①観光ナビゲーターの活用 産業観光視察受入については昨年度並みで、概ね順調に進捗している。 ②産業史料館運営業務 外国人観光客が増加しており、更なる増加に対応するための受入体制機能の強化が必要になると思われる。 ③新たな観光資源の発掘や体験型観光の企画開発 インバウンドに対応するための地域関係者との連携が必要と考えます。				
実施 スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
					
事業費見込 (単位：千円)	9,601	9,601	9,914	37,695	46,499
特定財源等	4,800	4,800	4,957	5,000	5,000
一般財源	4,801	4,801	4,957	32,695	41,499
特定財源等の 名称	地方創生推進交付金				
役割分担の 考え方	燕市が事業を実施し、費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

- 生活機能の強化に係る政策分野
産業振興
- 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（観光協会運営支援事業）				
事業内容	燕市と弥彦村の観光に係るイベント開催、観光情報の発信を担う観光協会の運営事業を支援することにより、圏域の観光客誘致を効果的に実施する。				関係市村
					燕 市 弥彦村
期待される効果	圏域の観光の魅力を安定的に情報発信させることで、観光客が圏域を訪れる契機となったり、リピーター率の増加が図れるなど、交流・応援人口の拡大が図られる。				
実施状況 (R6.9末時点の 年度末見込)	●（一社）燕市観光協会 【1. 観光イベント開催事業】 ・つばめ桜まつり 3月23日(土)～4月14日(日)を桜まつり期間として、桜のライトアップやイベントを市内各所で開催。 「第79回 分水おいらん道中」：4月14日(日) イベント当日は天気も良好であったため5年振りの屋外開催となり、分水の地藏堂本町と大河津分水桜並木の2地点をおいらん役と付き人約80人の行列が練り歩いた。 (観覧客：16,000名) ・第19回越後くがみ山酒呑童子行列 8月30日(金)～9月29日(日)の1カ月間を「鬼月間」として各所でPRとイベントを開催したほか、9月29日(日)に道の駅SORAIRO国上周辺で「酒呑童子行列」を実施しました。鬼役、鬼軍団の行列の他、小学生によるダンス披露等のステージイベントを実施した。 【2. 観光プロモーション事業】 燕市の魅力を発信していくため、ツール媒体、既存媒体等への広告掲載など、PR活動により、燕市の知名度向上、誘客促進を図る。 ●（一社）弥彦観光協会 コロナウイルス感染症からの客足回復を図るべく、感染症拡大のために中止または規模縮小していたイベントに関して、極力従来どおり開催したほか、弥彦村地域振興事業補助金を活用した「やひこ浴衣でまちあるき」、「山の日フェスタ」などの屋外周遊を促す事業を実施。「山の日フェスタ」ではインフルエンサーを起用したSNSプロモーションを実施した結果、弥彦山ロープウェイの関連施設の利用者数が前年比147%と好評だった。また、国補助事業を活用し閑散期（10月・12月）の誘客イベント「GFGS CARLIFE」イベントをヤホールで実施。パイクカー愛好者を中心に多くの観覧客（2回開催で延べ1300人）が来場した。				
進捗状況 (反省点・改善点)	☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ やや遅れている ☐ 大幅に遅れている イベントを継続して行くうえで、地域や関係団体との連携のあり方について検討が必要と考えます。				
実施 スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込 (単位：千円)	47,848	41,230	53,574	46,290	50,300
特定財源等	3,641	3,500	3,500	3,500	6,965
一般財源	44,207	37,730	50,074	42,790	43,335
特定財源等の 名称	地方創生推進交付金				
役割分担の 考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

- 生活機能の強化に係る政策分野
産業振興
- 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（２次交通整備事業）				
事業内容	ＪＲ燕三条駅や弥彦温泉から出発する２次交通を整備することにより、観光客の交通手段の利便性の向上を図る。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	圏域を訪れる観光客の滞在時間の増加やリピーター率の増加などにより、地域住民と観光客の交流の場の拡大が図られる。				
実施状況 (R6.9末時点の 年度末見込)	燕市や弥彦村を中心とした観光地を巡る日帰りタクシープラン 「燕・弥彦を観光タクシーでめぐる旅」の運行 【事業内容】 運行日：R6.4月上旬～R7.2下旬 ※コースによって運行日が異なります。 料 金：5,000円(新潟ワインコースト5,500円) 【実施状況】(R6.9.30見込) 利用人数56人				
進捗状況 (反省点・改善点)	□順調 ☒ 概ね順調 □やや遅れている □大幅に遅れている				
	・二次交通の利便性向上のため、引き続きPRを推進していきます。 ・一部コースの立ち寄り先等の見直しにより、より魅力的なコースにするとともに英語版・中国語版（繁体字）のパンフレットも作成しており、インバウンド向け商談会での利用促進を図ります。				
実施 スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込 (単位：千円)	4,500	2,000	2,000	2,000	2,000
特定財源等	－	750	750	－	－
一般財源	4,500	4,500	1,250	2,000	2,000
特定財源等の 名称					
役割分担の 考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

○生活機能の強化に係る政策分野
産業振興
－ 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（観光複合施設運営管理事業）				
事業内容	複合的な誘客施設である「道の駅国上」や「おもてなし広場」等において、圏域を訪れる契機となるよう、地場農産物等のPR拡充と販売促進を積極的かつ効果的に 行う。				関係市村
					燕 市 弥彦村
期待される 効果	施設の魅力を向上させることにより、観光客が圏域を訪れる契機とな り、交流・応援人口の拡大が図られる。				
実施状況 (R6.9末時点の 年度末見込)	●道の駅国上 ・R4年7月のリニューアルオープン以降、来館者数・売り上げともに順調に推 移している。「自然と遊ぶ道の駅」をコンセプトにした自然観光の交流拠点と して、多くのイベント開催し、施設機能としてもオートキャンプ場やRVパーク を整備し、令和5年11月にはドッグランがOPENした。 【R6年4月～R6年8月末実績】 入館者数：325,095人 前年度同期257,142人（前年同期比126%） 売上額：204,418,374円 前年度同期185,810,514円（前年同期比110%） ●おもてなし広場 ・来場者数については、弥彦燈籠まつりやヤホール、おもてなし広場でのイベ ント開催により順調に推移している。 ・売上額についても、昨年度入替えのあったテナント（1店舗）の本格稼働に より、前年度同期を上回る結果となった。 （R6年4月～R6年8月末実績） 来館者数 61,849人 前年度同期59,647人（前年同期比104%） 売上額 78,924,194円 前年度同期75,679,136円（前年度同期比104%）				
進捗状況 (反省点・改 善点)	☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ やや遅れている ☐ 大幅に遅れている				
	道の駅SORAIRO国上については、休日やイベント開催時に駐車場が不足 していることから、駐車場等の整備を進める。				
実施 スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込 (単位：千円)	30,509	37,769	35,665	46,423	45,894
特定財源等	－		13,929	14,000	14,000
一般財源	30,509	37,769	21,736	32,423	31,894
特定財源等の 名称	地方創生推進交付金、指定管理者納付金				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

- 生活機能の強化に係る政策分野
産業振興
－ 広域観光の推進

事業名	観光エリア魅力アップ促進事業（情報発信事業）				
事業内容	圏域の魅力を効果的に伝えることができる観光PR用ポスター、DVDを作成し、情報発信ツールとして活用を図る。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	圏域の魅力を情報発信することで、観光客が圏域を訪れる契機となり、交流・応援人口の拡大が図られる。				
実施状況 (R6.9末時点の 年度末見込)	①燕市・弥彦村観光PRマップの活用 燕・弥彦広域観光連携会議でR2年度から作成している「燕と弥彦ぐるぐるマップ」について、R5年度に修正した日本語版をR6年6月に30,000増刷。 ②情報発信ツールの作成事業 観光タクシーの日本語、英語版、繁体字版のデジタルパンフレットを作成し、中越交通ホームページや観光協会ホームページにて公開。 ③観光パンフレット等の掲出事業 1.パンフレット設置場所： 高速道路SA（上里、赤城高原）、新潟県大阪観光センター、新潟駅万代口観光案内センター 他県内8観光施設等 2.広告ステッカー掲出：都営地下鉄大江戸線				
進捗状況 (反省点・改善点)	☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ やや遅れている ☐ 大幅に遅れている				
	パンフレットの設置と併せてポスターをリニューアルしJR駅構内等に掲出することで、誘客促進のためのPRを行っていく。				
実施 スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
					
事業費見込 (単位：千円)	750	750	3,000	3,000	6,500
特定財源等	-	-	-	-	-
一般財源	750	750	3,000	3,000	6,500
特定財源等の 名称					
役割分担の 考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用負担をする。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

【重要業績成果指標(KPI)】

指標	基準値 (H30)	昨年同期値 (R5.9末)	最新値 (R6.9末見込)	評価	目標値 (R6)
燕市及び弥彦村の 観光入込客数(暦年)	3,332,034人	1,829,279人	2,326,238人	○	3,752,000人
2次交通整備事業の 利用人数	305人	35人	56人	△	400人
道の駅国上・おもてな し広場来館者数	367,929人	393,788人	443,000人	◎	404,000人
弥彦温泉宿泊数 (暦年)	88,193泊	32,643泊	43,300泊	○	91,000泊
産業観光視察受入人数 (燕市観光協会経由分)	2,102人	4,300人	4,022人	◎	3,500人

※達成状況は3段階で評価(◎:目標値を達成、○:目標値に向かって順調、△:遅れている)

○結びつきやネットワークの強化に係る政策分野
 地域公共交通
 - 地域公共交通ネットワークの構築

事業名	コミュニティバス運行事業				
事業内容	圏域住民の生活に密接なバス路線の運行を維持拡充するため、圏域の主要駅や病院等を経由するバス路線の整備を図る。				関係市村
					燕市 弥彦村
期待される効果	生活交通路線の維持拡充により、高齢者や学生など自動車を運転できない住民の通院や通学など生活に必要な交通手段が確保され、圏域住民の利便性が図られる。				
実施状況 (R6.9末時点 の年度末見込)	燕市循環バス「スワロー号」、弥彦・燕広域循環バス「やひこ号」、燕市コミュニティバス実証運行をそれぞれ運行している。 済生会新潟県央基幹病院が開院した令和6年3月1日に時刻表などを改正した。 【利用料金】 1回 100円（小学生以下無料） 【利用状況】 ・「スワロー号」乗車人数 29,937人（123.2人/日） （昨年度比 +4,351人（+18.0人/日）） ・「やひこ号」乗車人数 16,232人（66.8人/日） （昨年度比 △204人（△0.8人/日）） ・燕市コミュニティバス実証運行乗車人数 5,783人（23.8人/日） （昨年度比 +227人（+1.0人/日））				
進捗状況 (反省点・改善点)	☐順調 ☒概ね順調 ☐やや遅れている ☐大幅に遅れている バス利用者数はコロナ禍前の水準には戻っていないが、昨年度の同時期と比較して増加している。令和6年3月に開院した県央基幹病院へのアクセスを可能とする路線を編成するなど、利用者のニーズに対応していることが奏功しているものと捉えている。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込 (単位：千円)	36,645	41,063	42,213	48,680	48,629
特定財源等	33,056	32,605	32,194	37,147	38,669
一般財源	3,589	8,458	10,019	11,533	9,960
特定財源等の 名称	地域公共交通確保維持改善事業、特別交付税（地方バス）				
役割分担の 考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めま

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (H30)	昨年同期値 (R5.9末)	最新値 (R6.9末見込)	評価	目標値 (R6)
コミュニティバスの年間利用者数	53,404人	23,347人	26,522人	△	59,200人

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

- 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野
 地域公共交通
 - 地域公共交通ネットワークの構築

事業名	予約制乗合ワゴン車運行事業				
事業内容	高齢者をはじめとする圏域住民の通院・通学や買い物などの生活活動を支えるとともに、公共交通空白地域の解消を図る。				関係市村
					燕 市 弥彦村
期待される効果	生活交通路線の維持拡充により、高齢者や学生など自動車を運転できない住民の通院や通学など生活に必要な交通手段が確保され、圏域住民の利便性が図られる。				
実施状況 (R6.9末時点 の年度末見込)	予約制乗合ワゴン車「おでかけきららん号」は、燕市・弥彦村全域を運行エリアとし、ドアtoドアで運行している。令和5年11月から従来の電話予約に加えて、WEBから予約ができるよう整備し、令和6年3月1日からは東エリアにおいて、済生会新潟県央基幹病院での乗降を可能としている。 【利用料金（1回）】 大人（中学生以上） 300円、小学生 100円、未就学児 無料 【利用状況】 エリア全体 34,870人（143.5人/日） （昨年度比 △661人（△2.7人/日）） ・東エリア＝燕地区、横田地区※県央基幹病院で乗降可能 ・西エリア＝吉田地区、分水地区、弥彦村（※横田を除く） 【WEB予約の状況（R6.9月末時点）】 WEB登録者数：215人 WEB予約件数：1,845件（キャンセル含む）				
進捗状況 (反省点・改善点)	☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ やや遅れている ☐ 大幅に遅れている				
	デマンド交通の利用者数は、コロナ禍前の水準には戻っていないものの一定程度回復はしている。高齢者や学生など自動車を運転できない住民の生活に必要な交通手段として、引き続きニーズに対応していく必要がある。				
実施スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込 (単位：千円)	44,684	46,595	49,066	51,750	52,174
特定財源等	36,947	33,085	34,656	42,357	42,684
一般財源	7,737	13,510	14,410	9,393	9,490
特定財源等の 名称	地域公共交通確保維持改善事業、特別交付税（地方バス）				
役割分担の 考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めま

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (H30)	昨年同期値 (R5.9末)	最新値 (R6.9末見込)	評価	目標値 (R6)
予約制乗合ワゴン車の年間利用者数	38,652人	18,155人	17,942人	△	38,800人

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

- 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野
 中心市等における人材の育成
 - 圏域職員の育成

事業名		職員合同研修事業				
事業内容	圏域内外から専門家を招へいし、地域活力の向上に資する研修を合同で開催することで、職員の資質向上を図るとともに圏域内職員の交流を促進する。	関係市村				
		燕 市 弥彦村				
期待される効果	職員の資質、能力の向上を図るとともに、職員間のネットワーク構築と連携強化が図られる。					
実施状況 (R6.9末時点の 年度末見込)	【実施状況】 ①接遇力向上・電話応対研修〔R6.4.18実施〕 ・対象：新採用職員、希望者（29名：燕市27名、弥彦村2名） ・講師：NTTネクシア 田辺紀子 氏 ②行政実務のためのデータ分析研修〔R6.6.24実施〕 ・対象：主事～係長級職員（25名：燕市22名、弥彦村3名） ・講師：データ＆ストーリー合同会社 柏木吉基 氏 ③実務データ分析研修（フォローアップ編） 〔7月～10月 R6.11.21成果発表会〕 ・対象：主事～係長級職員（8名：燕市5名、弥彦村3名） ・講師：データ＆ストーリー合同会社 柏木吉基 氏 ④メンタルヘルス研修〔R6.10実施予定〕 ・対象：新採用職員ほか ・講師：石橋クリニック 石橋幸滋 氏 ⑤クレーム応対研修〔R6.11以降実施予定〕 ・対象：採用3年目職員ほか ・講師：NTTネクシア 田辺紀子 氏 ⑥公文書作成研修〔R6.11以降実施〕 ・対象：採用2年目職員ほか ・講師：株式会社ぎょうせい（仮）					
進捗状況 (反省点・改善点)	☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ やや遅れている ☐ 大幅に遅れている					
	実務データ分析研修や接遇力向上研修などを中心に、計画的に合同研修を実施しており、職員の資質向上と圏域内職員の交流に寄与している。					
実施 スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
事業費見込 (単位：千円)	1,191	1,485	1,640	1,549	1,500	
特定財源等	－	－	－	－	－	
一般財源	1,191	1,485	1,640	1,549	1,500	
特定財源等の 名称						
役割分担の 考え方	燕市が事業を実施し、弥彦村が事業経費の一部を負担する。					

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めま

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (H30)	昨年同期値 (R5.9末)	最新値 (R6.9末見込)	評価	目標値 (R6)
来庁者満足度	83.5%	92.2%	92.2%	◎	85.0%
合同研修メニュー数	4メニュー	5メニュー	6メニュー	◎	6メニュー

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

- 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野
 中心市等における人材の育成
 - 外部人材の確保

事業名	外部人材活用事業				
事業内容	圏域内における生活機能の強化及び結びつきやネットワークの強化を推進するため、必要に応じ高度で専門的な知識等を有する人材を圏域外から招へいすることで、定住自立圏構想の取組の成果を高める。				関係市村
					燕 市 弥彦村
期待される効果	専門的な知識等を有する人材を積極的に活用することにより、地域の活性化が図られる。				
実施状況 (R6.9末時点の 年度末見込)	【燕市】 平成23年度から、専門分野において実践経験を有する外部人材を任期を定めて活用しながら、高度かつ専門化する行政課題に対応している。 今年度は、職員採用や人材定着の業務を強化するために外部人材を活用しているほか、自治体DX推進のための外部人材を増員している。 ※令和6年度の活用分野 危機管理、広報企画、情報政策、産業誘致、人材育成の各分野 【弥彦村】 令和元年度から防災分野、令和3年度からは農業分野、図書館業務において、専門的な経験を有する人材を任期を定めて採用している。長年の知識や経験を活かし、専門的な業務に従事している。 ※令和6年度の活用分野 図書館業務の分野				
進捗状況 (反省点・改善点)	☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ やや遅れている ☐ 大幅に遅れている				
	高度かつ専門化する行政課題に適切に対応するため、今後も引き続き、民間企業や他の地方公共団体等で培った専門的知識や経験を有する人材の受入れを継続する。				
実施 スケジュール	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
事業費見込※1	(40,000)	(56,000)	(50,000)	(64,000)	(60,000)
特定財源等	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
一般財源	(40,000)	(56,000)	(50,000)	(64,000)	(60,000)
特定財源等の 名称	※1「外部人材活用事業」における職員人件費は特別交付税の包括的財政措置の対象外のためカッコ書きしています。				
役割分担の 考え方	両市村が事業を実施し、それぞれ費用を負担する。				

※事業費見込みは、現時点での連携市村の合計見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めま

【重要業績成果指標（KPI）】

指標	基準値 (H30)	昨年同期値 (R5.9末)	最新値 (R6.9末見込)	評価	目標値 (R6)
外部人材職員の招へい数（期間中の累計）	5人	12人	13人	◎	6人

※達成状況は3段階で評価（◎：目標値を達成、○：目標値に向かって順調、△：遅れている）

Ⅲ 共生ビジョン取組事務事業一覧表

事業費は一般財源の決算額または現時点での決算見込額を記載しています）

項目	事業名	連携市村	事業費（単位：千円）						特定財源等	
			R2	R3	R4	R5	R6見込	計		
1 生活機能の強化										
医療・福祉	地域医療・福祉の環境整備									
	病児・病後児保育事業	燕 市	8,534	11,498	11,498	13,288	12,630	57,448	子ども・子育て支援交付金	
		弥彦村	1,310	1,710	1,710	530	668	5,928		
		計	9,844	13,208	13,208	13,818	13,298	63,376		
	新潟大学寄附講座事業	燕 市	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	34,000		
		弥彦村	680	680	680	680	680	3,400		
		計	7,480	7,480	7,480	7,480	7,480	37,400		
	看護職員修学資金貸付事業	燕 市	－	7,200	12,003	16,080	17,880	53,163		
		弥彦村	－	300	960	960	1,200	3,420		
		計	－	7,500	12,963	17,040	19,080	56,583		
	介護人材育成促進事業	燕 市	679	590	619	529	1,203	3,620		
		弥彦村	85	25	25	30	480	645		
計		764	615	644	559	1,683	4,265			
産業振興	広域観光の促進									
	観光エリア魅力アップ促進事業									
	首都圏等観光PR事業	燕 市	8,150	3,750	3,750	3,750	4,750	24,150	地方創生推進交付金	
		弥彦村	2,600	2,500	2,500	2,500	2,500	12,600		
		計	10,750	6,250	6,250	6,250	7,250	36,750		
	産業観光ナビゲート事業	燕 市	4,801	4,801	4,957	4,957	5,000	24,516	地方創生推進交付金	
		弥彦村	0	0	0	0	0	0		
		計	4,801	4,801	4,957	4,957	5,000	24,516		
	観光協会運営支援事業	燕 市	40,907	36,430	50,074	41,490	42,035	210,936	地方創生推進交付金	
		弥彦村	3,300	1,300	0	1,300	1,300	7,200		
		計	44,207	37,730	50,074	42,790	43,335	218,136		
	2次交通整備事業	燕 市	3,000	3,000	750	1,500	1,500	9,750		
		弥彦村	1,500	1,500	500	500	500	4,500		
		計	4,500	4,500	1,250	2,000	2,000	14,250		
	観光複合施設 管理運営事業	燕 市	26,464	34,395	21,736	28,112	27,020	137,727	地方創生推進交付金、 指定管理者 納付金	
		弥彦村	4,045	3,374	0	4,311	4,874	16,604		
		計	30,509	37,769	21,736	32,423	31,894	154,331		
	情報発信ツール活用事業	燕 市	500	500	2,650	2,650	5,600	11,900		
		弥彦村	250	250	350	350	900	2,100		
		計	750	750	3,000	3,000	6,500	14,000		
	①小計		燕 市	99,835	108,964	114,837	119,156	124,418	567,210	
			弥彦村	13,770	11,639	6,725	11,161	13,102	56,397	
			計	113,605	120,603	121,562	130,317	137,520	623,607	
2 結びつきやネットワークの強化										
地域公共交通	地域公共交通ネットワークの構築									
	コミュニティバス 運行事業	燕 市	2,621	3,544	4,215	4,910	4,992	20,282	地域公共交通確保 維持改善事業、 特別交付税 （地方バス）	
		弥彦村	968	4,914	5,804	6,623	4,968	23,277		
		計	3,589	8,458	10,019	11,533	9,960	43,559		
	予約制乗合ワゴン車 運行事業	燕 市	6,455	6,772	7,230	7,834	7,916	36,207	地域公共交通確保 維持改善事業、 特別交付税 （地方バス）	
		弥彦村	1,282	6,738	7,180	1,559	1,574	18,333		
		計	7,737	13,510	14,410	9,393	9,490	54,540		
	②小計		燕 市	9,076	10,316	11,445	12,744	12,908	56,489	
			弥彦村	2,250	11,652	12,984	8,182	6,542	41,610	
			計	11,326	21,968	24,429	20,926	19,450	98,099	
3 圏域マネジメント能力の強化										
人材育成	圏域職員の育成									
	職員合同研修事業	燕 市	1,068	1,298	1,438	1,355	1,300	6,459		
		弥彦村	123	187	202	194	200	906		
		計	1,191	1,485	1,640	1,549	1,500	7,365		
	外部人材の確保									
	外部人材活用事業 ※1	燕 市	(32,000)	(40,000)	(48,000)	(56,000)	(56,000)	(232,000)		
		弥彦村	(8,000)	(16,000)	(20,000)	(8,000)	(4,000)	(56,000)		
		計	(40,000)	(56,000)	(50,000)	(64,000)	(60,000)	(288,000)		
	③小計		燕 市	1,068	1,298	1,438	1,355	1,300	6,459	
			弥彦村	123	187	202	194	200	906	
計			1,191	1,485	1,640	1,549	1,500	7,365		
①＋②＋③ 合計		燕 市	109,979	120,578	127,720	133,255	138,626	630,158		
		弥彦村	16,143	23,478	19,911	19,537	19,844	98,913		
		計	126,122	144,056	147,631	152,792	158,470	729,071		

※ 1 「外部人材活用事業」における職員人件費は特別交付税の包括的財政措置の対象外のためカッコ書きし、集計には含めていません。